

## 第10回放射線災害時のスクリーニング作業の実際について(実践講習会) 開催印象記

神奈川県放射線技師会 災害対策委員会  
神奈川県放射線管理士部会  
医療法人山内龍馬財団山内病院 後藤慎一

平成26年11月8日(土)横須賀共済病院にて、横須賀三浦原子力災害特別派遣チーム(NAS チーム)主催、神奈川県放射線管理士部会・神奈川県放射線技師会災害対策委員会共催の『放射線災害時のスクリーニング作業の実際について(実践講習会)』を実施しました。

第一部では特別講演として『福島第一原発事故での活動』と題し、元 富士フイルムR Iファーマ(株)執行役員千葉工場長、現(株)アトックス顧問 広野町除染アドバイザーの岡崎富美夫先生よりご講演を頂き、汚染の状況や、除染の実際と住民の不安との関わりについて、ご講演を頂きました。

第二部では『原子力災害時の診療放射線技師の役割』と題して私、後藤により福島第一原子力発電所構内の救急医療室における医療支援活動、についてお話いたしました。20キロ圏内唯一の初期被ばく医療施設である救急医療室に、全国の診療放射線技師が赴いて役割を果たし、一定の評価を得ました。今後こういった事が起こるかどうかは分かりませんが、放射線管理士の認定を維持して、常に備えておくことが重要であること。備えがあれば、どんな技師でも対応ができることが伝われば良かったと思っています。

第三部では実践演習として、NASチーム(横須賀市立うわまち病院)小林輝雄氏による『サーベイメータの使用法』として、セグメント法による全身サーベイに必要な機材の使用法について、ご講演いただきました。

続いて、NASチーム(横須賀市立市民病院)田島尚人氏による『セグメント法について』ではセグメント法による全身サーベイの実際について、ご講演いただきました。

最後に、線源とGM/シンチレーションサーベイメータを使用したセグメント法による全身サーベイ実習が行われ、実際さながらの実習となりました。

今回で10回目の節目となる実践講習会は、東日本大震災における経験を踏まえて、放射線災害時の診療放射線技師にとって必要とされる基礎的かつ実務的な知識を再確認できる実りある講習会となったと思います。今後も全国展開の「管理士セミナー」と、この「実践講習会」には定期的に参加し、備えを維持しつつ、さらにもう一歩先にステップアップ出来たらいいなと考えています。



特別講演



セグメント法による全身サーベイ